公開シンポジウム「生存学×医療の哲学×生命倫理学
――安楽死を巡る学説の展望と課題――」開催のお知らせ

◆共催：立命館大学グローバル COE プログラム「生存学」創成拠点、立命館大学生存学研究センター、立命館大学大学院先端総合学術研究科、ファイザーヘルスリサーチ振興財団研究助成「尊厳死・安楽死研究会」

◆企画趣旨：

本シンポジウムは、生存学・医療の哲学・生命倫理学といった互いに隣接・重複しつつも異なる学問領域の対話を通じて、安楽死問題についての従来の学説を俯瞰し、今後の研究・実践上の課題を明確にすることを目的としています。安楽死や尊厳死に対する問題意識の高い人たちとの出会いの場を通して、日本の終末期医療や障害者・高齢者福祉の問題について有意義な対話の場をご提供できればと思っております。本シンポジウムの企画趣旨をご理解いただき、何卒ご支援のほどをよろしくお願い申し上げる次第です。

◆開催日時：2010 年 10 月 2 日（土）13:00-18:10（12:30 より開場・受付開始）

◆会場：京都府中小企業会館 8 階 会議室 802
（京都駅より市バス 205 号系統に乗って、「西大路花屋町」にて下車徒歩 1 分。）
※ 会場には駐車場がございませんので、ご来場の際には公共交通機関をご利用ください。

◆定員：１００名（定員になり次第、締め切ります）

◆参加費：無料（要事前申込）

◆お問い合わせ：

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1
立命館大学 人文社会リサーチオフィス内 生存学研究センター事務局
E-mail：ars-vive@st.ritsumei.ac.jp
TEL：075-465-8475　　FAX：075-465-8342
担当：佐山／伊藤

生存学
ars vivendi

◆プログラム内容：

時間	
12:30～	開場・受付開始
13:00～13:10	開会の辞 立岩 真也（立命館大学大学院先端総合学術研究科教授）
13:10～14:30	第一部：安楽死・尊厳死を巡る議論とガイドラインの現状――若手研究者による総括と分析（1 名当り報告 15 分、質疑応答 5 分）
	１）安部 彰（総合地球環境学研究所プロジェクト研究員） ２）有馬 斉（東京大学大学院医学系研究科特任助教） ３）坂本 徳仁（立命館大学衣笠総合研究機構客員研究員） ４）堀田 義太郎（日本学術振興会特別研究員）
14:30～14:40	休憩
14:40～16:00	第二部：安楽死・尊厳死と障老病異――パネリストによる基調報告（1 名当り報告 20 分）
	１）浅井 篤（熊本大学大学院生命科学研究部教授） ２）江口 聡 （京都女子大学現代社会学部准教授） ３）清水 哲郎（東京大学大学院人文社会系研究科教授） ４）立岩 真也
16:00～16:10	休憩
16:10～18:00	第三部：安楽死・尊厳死問題のこれから――パネル・ディスカッション（議論 90 分、質疑応答 20 分）
	モデレーター： 安彦 一恵（滋賀大学教育学部教授） パネリスト： 浅井 篤 江口 聡 清水 哲郎 立岩 真也
18:00～18:10	閉会の辞 立岩 真也